

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	5 年間（2016年 1 月21日～2021年 1 月20日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」（以下「ＡＰエクイティ・ファンド」といいます。）の投資証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ＡＰエクイティ・ファンドの投資証券を通じて、アジア・オセアニアおよび日本のアジア・ワン企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。 ※アジア・ワン企業とは、トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しており、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される企業をいいます。 ②当ファンドは、ＡＰエクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組 入 制 限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ／ミレーアセット 亜細亜株式ファンド

運用報告書（全体版） 第 2 期

（決算日 2017年 1 月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド」は、このたび、第 2 期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2016年 7 月20日)	10,120	0	1.2	10,540	5.4	0.0	98.9	27,934
2 期末 (2017年 1 月20日)	10,283	150	3.1	12,089	14.7	0.0	99.3	60,196

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期首：10,120円

期末：10,283円（分配金150円）

騰落率：3.1%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

中国の景気見通しの改善や米国の景気刺激政策への期待などからアジア・オセアニア株式市況や日本株式市況が上昇したこと、およびアジア通貨が対円で総じて上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I A C Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2016年 7 月20日	円	%		%	%	%
	10, 120	—	10, 540	—	0. 0	98. 9
7 月末	10, 055	△ 0. 6	10, 464	△ 0. 7	0. 0	98. 9
8 月末	9, 926	△ 1. 9	10, 599	0. 6	0. 0	98. 9
9 月末	10, 189	0. 7	10, 696	1. 5	0. 0	99. 2
10月末	10, 130	0. 1	10, 893	3. 3	0. 0	99. 0
11月末	10, 281	1. 6	11, 479	8. 9	0. 0	98. 3
12月末	10, 248	1. 3	11, 799	11. 9	—	99. 1
(期末) 2017年 1 月20日	10, 433	3. 1	12, 089	14. 7	0. 0	99. 3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 7. 21 ～ 2017. 1. 20)

■アジア・オセアニア株式市況

アジア・オセアニア株式市況は、期首から2016年9月までは、米国や中国の好調なマクロ経済指標などを受けて底堅く推移しました。しかし10月以降は、年内の米国の利上げを警戒する動きなどから軟調な展開となり、11月の米国大統領選挙でのトランプ氏勝利が伝わると、米国金利の上昇と米ドル高の進行によるアジア圏からの資金流出懸念から、下落基調となりました。その後2017年に入り、中国の景気見通しの改善などから反発して期末を迎えました。

■日本株式市況

国内株式市況は、期首より、日米の金融政策や米国大統領選挙に関する見方が交錯し、株価は一進一退で推移しました。2016年11月は、米国大統領選挙でのトランプ氏勝利を受けて、一時的に投資家のリスク回避姿勢が強まり株価も下落しましたが、その後はトランプ氏の景気刺激政策への期待が高まり、株価は上昇基調で推移しました。2017年1月に入ると、新大統領の就任を控え、保護主義的な政策への警戒から株価はやや下落し期末を迎えました。

■為替相場

アジア・オセアニア通貨の対円相場は、総じて堅調に推移しました。米国の利上げ実施や政策金利の見通しが上方修正されたこと、原油など資源の価格上昇、トランプ氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好姿勢が強まったことなどが支援材料となりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）（以下「A Pエクイティ・ファンド」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、A Pエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■A Pエクイティ・ファンド

ミレーアセット社と大和投資信託で連携して運用を行なっておりまゐります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に投資してまいります。国別では、中長期的な消費拡大から恩恵を受ける中国やインフラ（社会基盤）投資の拡大が見込まれるインドに、個別銘柄では、I T（情報技術）関連、オンライン消費関連、旅行関連、ヘルスケア関連などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、優れた市場の開拓力、独自の技術力・開発力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行ないまゐります。海外の経済・政治動向に不透明感がありますが、アジア地域の経済成長の恩恵を受ける消費関連企業の成長期待は変わらないと考えます。また、円高の影響が警戒された輸出関連株につきましても、保守的な会社計画を上回ると期待される銘柄も散見されます。以上を踏まえ、中期的な成長に注目して、組入比率の変更や銘柄の入れ替えを進めてまいります。このほか、日本・米国・欧州の金融政策や中国の政策動向次第では、全体相場や物色動向が大きく変化する可能性も考慮し、機動的な対応を心掛ける考えです。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないまゐります。

ポートフォリオについて

(2016. 7. 21 ～ 2017. 1. 20)

■当ファンド

当ファンドはA Pエクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。A Pエクイティ・ファンドへの投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■A Pエクイティ・ファンド

アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、定量・定性分析に基づいてミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定しました。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資しました。国別構成では、中長期的な消費拡大が期待された中国やインドを参考指数と比較してオーバーウエートとしました。個別銘柄では、TENCENT HOLDINGS（中国、情報技術）、ALIBABA GROUP HOLDING（中国、情報技術）などを高位に組み入れました。

・日本株式

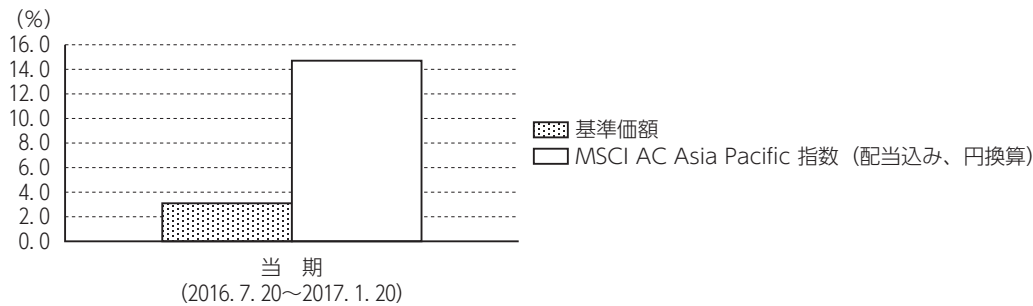
業種構成は、新興国の中期的な消費拡大の恩恵を受けると期待される消費財関連企業などの業績成長に注目し、参考指数と比較して生活必需品や一般消費財・サービスセクターなどをオーバーウエートとしました。また、アジアを含むグローバルな景気回復期待を受けて、業績の改善が期待された素材、資本財・サービスセクターもオーバーウエートとしました。個別銘柄では、業績見通しや株価指標、アジア展開の潜在力などを総合的に勘案し、消費者向け製品の電子部品を供給する日本電産やソニー、合成繊維や炭素繊維・電子材料など先端部材を展開する東レ、育児用品を展開するピジョンなどを高位に組み入れました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。
参考指数はアジア・オセアニアおよび日本の株式市況の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は150円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年 7月21日 ～2017年 1月20日	
当期分配金（税込み）	(円)	150
対基準価額比率	(%)	1. 44
当期の収益	(円)	150
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	332

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	386. 18
(c) 収益調整金	53. 34
(d) 分配準備積立金	42. 68
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	482. 21
(f) 分配金	150. 00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	332. 21

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＡＰエクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＡＰエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和投資信託で連携して運用を行なってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に投資してまいります。トランプ氏の掲げる保護貿易主義がアジアの輸出関連企業の業績にマイナスの影響を与える可能性があります。当ファンドが着目している、中国の電子商取引関連、保険関連、旅行関連株などの内需関連株に対する影響は大きくないものと思われ、これらの銘柄に対して強気の見通しを維持しています。

・日本株式

ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行なってまいります。とりわけアジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連企業に引き続き注目してまいります。

国内の消費関連企業にはアジア各国でブランドを有す企業が多くあり、それらの企業のさらなる拡大が期待されることに加え、今後拡大の潜在力を持つ新たな企業が生まれてくると考えます。その他の個別銘柄では円安による業績回復が期待される外需関連銘柄や、財政政策の拡大が注目される日本・米国・アジアのインフラ投資関連銘柄などに注目し、銘柄の選別を行なってまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 7. 21～2017. 1. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0. 615%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 099円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0. 191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0. 408)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	62	0. 618	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 4) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託証券

(2016年7月21日から2017年1月20日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千国外・円	千口	千国外・円
外国 (邦貨建)	308,313.119	30,900,000	12,583.006	1,300,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託証券

(2016年7月21日から2017年1月20日まで)

当 期				期 付			
買		付		売		付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND (ルクセンブルグ)	308,313.119	30,900,000	100	MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND (ルクセンブルグ)	12,583.006	1,300,000	103

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける期
中の利害関係人との取引状況

(2016年7月21日から2017年1月20日まで)

決 算 期	当			期		
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	137,963	36,870	26.7	—	—	—
コール・ローン	4,582,448	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファン
ドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支
払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支
払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される
利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券で
す。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託証券 (ルクセンブルグ) MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND	569,754.359	59,773,499	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	9,958	9,958	9,994

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年1月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	59,773,499	97.3
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	9,994	0.0
コール・ローン等、その他	1,644,067	2.7
投資信託財産総額	61,427,561	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年1月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	61,427,561,319円
コール・ローン等	1,644,067,721
投資信託証券(評価額)	59,773,499,573
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	9,994,025
(B) 負債	1,230,614,884
未払収益分配金	878,099,209
未払解約金	112,351,036
未払信託報酬	239,010,790
その他未払費用	1,153,849
(C) 純資産総額 (A - B)	60,196,946,435
元本	58,539,947,297
次期繰越損益金	1,656,999,138
(D) 受益権総口数	58,539,947,297口
1万口当り基準価額 (C / D)	10,283円

* 期首における元本額は27,603,137,654円、当期中における追加設定元本額は33,332,973,260円、同解約元本額は2,396,163,617円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,283円です。

■損益の状況

当期 自2016年7月21日 至2017年1月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 173,081円
受取利息	4,723
支払利息	△ 177,804
(B) 有価証券売買損益	2,500,937,025
売買益	2,545,287,891
売買損	△ 44,350,866
(C) 信託報酬等	△ 240,164,639
(D) 当期損益金 (A + B + C)	2,260,599,305
(E) 前期繰越損益金	249,838,818
(F) 追加信託差損益金	24,660,224
(配当等相当額)	(312,258,339)
(売買損益相当額)	(△ 287,598,115)
(G) 合計 (D + E + F)	2,535,098,347
(H) 収益分配金	△ 878,099,209
次期繰越損益金 (G + H)	1,656,999,138
追加信託差損益金	24,660,224
(配当等相当額)	(312,258,339)
(売買損益相当額)	(△ 287,598,115)
分配準備積立金	1,632,514,885
繰越損益金	△ 175,971

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は12ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2, 260, 742, 708
(c) 収益調整金	312, 258, 339
(d) 分配準備積立金	249, 871, 386
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	2, 822, 872, 433
(f) 分配金	878, 099, 209
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1, 944, 773, 224
(h) 受益権総口数	58, 539, 947, 297口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	150円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は1月20日現在の基準価額（1万口当り10,283円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド）は、ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。
（注）2017年1月20日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

純資産計算書（2016年3月31日現在）

	(U S D)
営業投資有価証券取得原価	212, 580, 718
未実現評価損益 / (損失)	13, 392, 375
営業投資有価証券時価評価額	225, 973, 093
現金	11, 420, 484
未収利息および未収配当金	740, 846
営業投資有価証券売上に係る未収入金	280, 811
資産合計	238, 415, 234
営業投資有価証券購入に係る未払金	1, 238, 652
未払費用	168, 868
負債合計	1, 407, 520
純資産	237, 007, 714
B 資本 U S D 株当りの純資産価値	9. 45
J 資本 J P Y 株当りの純資産価値	102. 62
K 資本 U S D 株当りの純資産価値	9. 59
B 資本 U S D 発行済み株式数	365, 604. 04
J 資本 J P Y 発行済み株式数	253, 849, 729. 01
K 資本 U S D 発行済み株式数	179, 994. 63

損益計算書および純資産変動計算書（2016年3月31日に終了した会計期間）

	(USD)
期首純資産	—
配当金（源泉徴収税を除いた額）	817,615
収益合計	817,615
管理会社報酬	19,889
投資運用報酬	217,051
保管報酬	28,595
監査および弁護士費用	6,813
管理および会計費用	21,441
登記および名義書換事務代行費用	3,174
引受税	6,036
取引関係費	231,517
その他の費用	11,156
費用合計	545,672
投資による利益／（損失）（純額）	271,943
実現利益／（損失）（純額）	
営業投資有価証券売上に係る	(621,442)
先物為替予約取引に係る	16,701
外国為替に係る	632,218
未実現評価損益の増減額（純額）	
営業投資有価証券に係る	13,392,375
運用に係る純資産の期中増減額（純額）	13,691,795
募集による収入	223,516,302
償還に対する支出	(200,383)
株式取引による利益／（支出）（純額）	223,315,919
期末純資産	237,007,714

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

2016年度末現在の投資スケジュール（米ドル建て）

数量	内容	時価総額	純資産に占める割合%
取引所上場が認められた有価証券とマネーマーケット商品			
	株式		
852,400	AIA Group Limited	4,831,001	2.04
68,753	Alibaba Group Holding	5,421,862	2.29
13,826	Amorepacific Corp.	4,672,734	1.97
196,298	Apollo Hospitals Enterprise Limited	3,940,439	1.66
96,446	Asian Paints Limited	1,264,765	0.53
21,763	Baidu.com - ADR	4,132,576	1.74
4,089,400	Bangkok Dusit Medical Services pcl - NVDR	2,720,044	1.15
71,319	Britannia Industries Limited	2,893,329	1.22
292,100	Casio Computer Company Limited	5,903,611	2.49
15,688	China Biologic Products Inc.	1,791,099	0.76
29,503	Cognizant Technology Solutions Corp. - A	1,842,462	0.78
68,067	CSL Limited	5,304,203	2.23
121,246	Ctrip.com International Limited - ADR	5,458,495	2.30
202,400	Daifuku Company Limited	3,417,015	1.44
50,600	Daikin Industries Limited	3,788,077	1.60
44,200	Daiwa House Industry Company Limited	1,245,381	0.53
128,500	Dena Company Limited	2,217,430	0.94
859,000	Denki Kagaku Kogyo K K	3,539,510	1.49
164,069	Eclat Textile Company Limited	2,158,913	0.91
60,800	Ezaki Glico Company Limited	3,122,112	1.32
49,250	Godrej Consumer Products Limited	1,026,934	0.43
530,000	Hankyu Hanshin Holdings Inc.	3,386,642	1.43
4,278	Hanmi Pharm Company Limited	2,614,827	1.10
40,100	HDFC Bank Limited - ADR	2,440,486	1.04
99,704	Hindustan Lever Limited	1,309,145	0.56
150,600	Hitachi Capital Corp.	3,283,674	1.39
204,300	Hitachi Transport System Limited	3,421,819	1.44
16,425	Hotel Shilla Company Limited	955,107	0.40
1,459,500	IHH Healthcare BHD	2,454,013	1.04
92,700	Isuzu Motors Limited	958,639	0.40
204,195	Jd.Com Inc. - ADR	5,562,272	2.34
130,999	Jiangsu Hengrui Medicine Company	956,622	0.40
29,802,200	Kalbe Farma Tbk Pt	3,247,470	1.37
67,700	Kao Corp.	3,616,813	1.53
6,507	LG Chem Limited	1,863,447	0.79
1,738	Lg Household & Health Care Limited	1,436,173	0.61
109,848	Lupin Limited	2,453,802	1.04
90,800	M3 Inc.	2,288,485	0.97
149,000	Mazda Motor Corp.	2,315,922	0.98
484,000	Meidensha Corp.	2,209,692	0.93
2,327,100	Minor International pcl - NVDR	2,447,469	1.03
359,000	Mitsubishi Ufj Financial Group Inc.	1,666,164	0.70
1,320,700	Mizuho Financial Group Inc.	1,975,791	0.83

数量	内容	時価総額	純資産に占める 割合%
78,600	Nidec Corp.	5,386,897	2.27
64,100	Nifco Inc.	3,086,202	1.30
74,500	Obayashi Corp.	735,950	0.31
101,000	Ono Pharmaceutical Company Limited	4,283,052	1.81
42,700	Oriental Land Company Limited	3,028,693	1.28
2,150	Orion Corp.	1,718,342	0.73
113,000	Pc Home Online	1,244,658	0.53
192,400	Pigeon Corp.	5,028,958	2.12
1,433,500	Ping An Insurance Group Company of China Limited	6,858,141	2.89
427,059	Qingdao Haier Company Limited - A	559,275	0.24
74,518	Ramsay Health Care Limited	3,512,536	1.48
49,500	Rinnai Corp.	4,378,856	1.85
11,600	Ryohin Keikaku Company Limited	2,456,994	1.04
67,900	Seven & I Holdings Company Limited	2,895,714	1.22
193,250	Shanghai Jahwa United Company Limited - A	917,003	0.39
68,900	Siix Corp.	2,112,406	0.89
12,400	SMC Corp.	2,884,671	1.22
102,800	Sony Corp.	2,646,736	1.11
108,400	Square Enix Holdings Company Limited	2,932,729	1.23
275,052	Sun Pharmaceutical Industries Limited	3,405,919	1.44
464,202	Sydney Airport	2,385,654	1.01
99,600	Sysmex Corp.	6,240,236	2.63
515,900	Tencent Holdings Limited	10,537,935	4.44
35,300	Tokai Rika Company Limited	665,380	0.28
1,414,000	Tokyo Rope Mfg Company Limited	2,051,191	0.87
372,000	Toray Industries Inc.	3,175,566	1.34
32,100	Toto Limited	1,002,723	0.42
40,900	Toyota Motor Corp.	2,166,483	0.91
278,400	Unilever Indonesia Tbk Pt	901,174	0.38
852,850	Universal Robina Corp.	4,015,612	1.69
85,284	Vipshop Holdings Limited	1,073,726	0.45
44,200	W-Scope Corp.	2,053,344	0.87
834,291	Zhengzhou Yutong Bus Company Limited	2,499,917	1.06
224,100	Zojirushi Corp.	3,573,954	1.50
	株式合計	225,973,093	95.34
	取引所上場が認められた有価証券とマネーマーケット商品の合計	225,973,093	95.34
	営業投資有価証券時価評価額	225,973,093	95.34
	現金	11,420,484	4.82
	その他純負債	(385,863)	(0.16)
	純資産総額	237,007,714	100.00

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ／ミレアセット垂細垂株式ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2017年1月20日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を17ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年7月21日から2017年1月20日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
613 国庫短期証券 2016/9/12	18,220,258		
611 国庫短期証券 2016/9/5	15,210,394		
609 国庫短期証券 2016/8/22	8,580,187		
629 国庫短期証券 2016/11/28	8,570,294		
610 国庫短期証券 2016/8/29	7,920,152		
619 国庫短期証券 2016/10/11	7,720,160		
607 国庫短期証券 2016/8/15	7,700,132		
632 国庫短期証券 2016/12/12	7,380,262		
620 国庫短期証券 2016/10/17	7,150,250		
605 国庫短期証券 2016/8/8	6,650,229		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2017年1月20日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（40,715,060千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2017年1月20日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちB B 格 以下組入 比	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 4,320,000	千円 4,320,088	% 10.6	% —	% —	% —	% 10.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2017年1月20日現在						
区 分		銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券		639 国庫短期証券	% —	千円 1,430,000	千円 1,430,011	2017/01/23
		641 国庫短期証券	—	2,860,000	2,860,075	2017/01/30
		642 国庫短期証券	—	30,000	30,001	2017/02/06
合 計	銘 柄 数	3銘柄				
	金 額			4,320,000	4,320,088	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2016年12月9日）

（計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

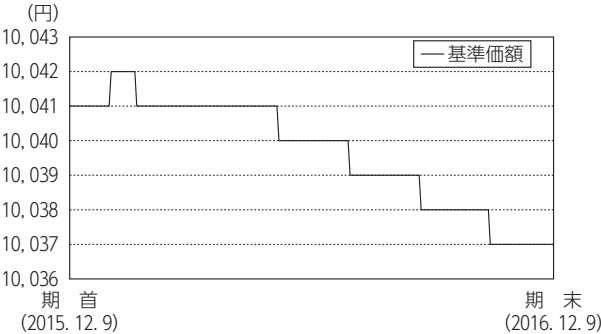
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	円	騰 落 率 %	
(期首) 2015年12月9日	10,041	—	51.6
12月末	10,041	0.0	51.7
2016年1月末	10,042	0.0	90.7
2月末	10,041	0.0	51.1
3月末	10,041	0.0	2.0
4月末	10,041	0.0	7.5
5月末	10,040	△ 0.0	0.1
6月末	10,040	△ 0.0	2.0
7月末	10,039	△ 0.0	19.3
8月末	10,038	△ 0.0	46.5
9月末	10,038	△ 0.0	26.0
10月末	10,037	△ 0.0	3.4
11月末	10,037	△ 0.0	26.6
(期末) 2016年12月9日	10,037	△ 0.0	29.1

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

- ◆基準価額等の推移について
【基準価額・騰落率】
期首：10,041円 期末：10,037円 騰落率：△0.0%
【基準価額の主な変動要因】
低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。
- ◆投資環境について
○国内短期金融市況
期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。
- ◆前期における「今後の運用方針」
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。
- ◆ポートフォリオについて
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。
- ◆ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 215,986,756	千円 2,822,446 (233,210,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

当		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
591 国庫短期証券 2016/5/30	18,690,605	575 国庫短期証券 2016/6/10	1,500,603
601 国庫短期証券 2016/7/19	18,510,383	342 2年国債 0.1% 2016/7/15	720,475
613 国庫短期証券 2016/9/12	18,220,258	100 5年国債 0.3% 2016/9/20	601,368
611 国庫短期証券 2016/9/5	15,210,394		
596 国庫短期証券 2016/6/20	11,560,241		
588 国庫短期証券 2016/5/16	9,500,428		
609 国庫短期証券 2016/8/22	8,580,187		
629 国庫短期証券 2016/11/28	8,570,294		
610 国庫短期証券 2016/8/29	7,920,152		
619 国庫短期証券 2016/10/11	7,720,160		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1)国内(邦貨建) 公社債(種類別)

作成期	当		期		末		
区 分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 12,370,000	千円 12,370,239	% 29.1	% —	% —	% —	% 29.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

当		期		末	
区 分	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	632 国庫短期証券	— %	千円 7,380,000	千円 7,380,059	2016/12/12
	634 国庫短期証券	—	2,070,000	2,070,043	2016/12/19
	635 国庫短期証券	—	2,920,000	2,920,135	2016/12/26
合計	銘柄数	3銘柄			
	金 額		12,370,000	12,370,239	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当	期	末
	評 価 額	比	率
	千円		%
公社債	12,370,239	27.2	
コール・ローン等、その他	33,049,576	72.8	
投資信託財産総額	45,419,816	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月 9 日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	45,419,816,005円
コール・ローン等	33,049,294,532
公社債（評価額）	12,370,239,552
その他未収収益	281,921
(B)負債	2,970,027,930
未払金	1,470,027,930
未払解約金	1,500,000,000
(C)純資産総額（A－B）	42,449,788,075
元本	42,294,564,193
次期繰越損益金	155,223,882
(D)受益権総口数	42,294,564,193口
1万口当り基準価額（C／D）	10,037円

*期首における元本額は62,535,131,959円、当期中における追加設定元本額は110,785,944,225円、同解約元本額は131,026,511,991円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジあり）3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド（為替ヘッジなし）1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド（為替ヘッジあり）2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-49,795,838円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）999円、アジア高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）999円、U.S短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり/毎月決算型）3,988,832円、U.S短期高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり/年1回決算型）4,984円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-（為替ヘッジあり）39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）-ロボテック（年1回）-（為替ヘッジあり）3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス13,026,074,887円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス7,057,921,466円、ダイワ上場投信-TOPIXレバレッジ（2倍）指数1,434,536,786円、ダイワ上場投信-TOPIXダブルインバース（-2倍）指数757,087,194円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス11,055,796,865円、ダイワ上場投信-TOPIXインバース（-1倍）指数2,230,635,146円、ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス901,494,652円、ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス4,402,808,262円、ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス313,802,045円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ185,052,355円、ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ160,376,323円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ76,963,963円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー・ポートフォリオ-SLトレード-48,811,188円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の軌音（つちおと）-11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ395,846,364円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ91,481,943円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース（毎月分配型）4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）4,981,569円、ダイワU.S短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり/年1回決算型）199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）997円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）997円、ダイワ新グロー

バル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）997円、ダイワ/ミレアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）-ロボテック（年1回）-100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）2,088,438円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）1,012,911円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）-ジャパン・トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ-予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ-予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ-予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ-予想分配金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ-予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月 9 日

項 目	当 期
(A)配当等収益	△ 16,210,382円
受取利息	△ 3,627,074
その他収益金	281,921
支払利息	△ 12,865,229
(B)有価証券売買損益	△ 1,217,528
売買益	236,035
売買損	△ 1,453,563
(C)その他費用	△ 176,405
(D)当期増益金（A+B+C）	△ 17,604,315
(E)前期繰越増益金	256,659,974
(F)解約差損益金	△ 525,706,324
(G)追加信託差損益金	441,874,547
(H)合計（D+E+F+G）	155,223,882
次期繰越増益金（H）	155,223,882

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。